

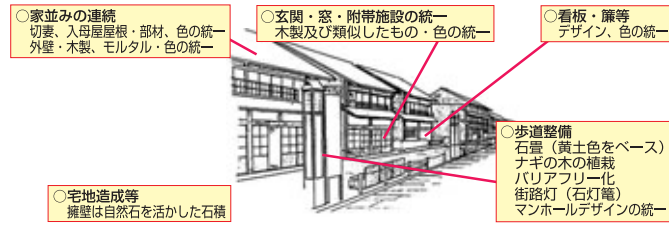
# 多文化共生近畿

『多文化共生近畿』では、国内のみならず世界の人々との交流を深め、多様な文化が共生する地域づくりを進めることを目的に、次の事業を行っています。

## ①近畿の歴史的遺産や街なみの保存と整備

### 歴史と文化・世界遺産を活かした街なみ環境整備

ユネスコの世界遺産登録を受けた「紀伊山地の霊場と参詣道」の周辺地区（高野山地区、本宮地区）において、歴史的景観を形成する整備を進めています。（詳細は本文P28参照）



## ②文化風土を軸とする様々な交流・連携ネットワークの創造

### 歴史文化を活かした新しい観光文化都市の創造

まちが持つ特徴を活かして市民と協働し、個性と魅力のあるまちづくりを進めています。（詳細は本文P28参照）



### 未知普請（みちぶしん）活動の推進

「対話と協働」「参加と責任」「未知への挑戦」の3本柱をもって「未知普請」活動を推進します。（詳細は本文P29参照）



### 総合学習への支援

わかりやすい国土交通行政を進めていく取り組みの一環として、小学生を対象とした「学習副読本」の作成や、「総合的な学習の時間」への取り組みを進めています。（詳細は本文P29参照）



### 歴史的遺産を活かした賑わい・交流の拠点となる公園整備

歴史的風土及び文化財等を活かして地域住民と観光客が一体となって交流できる公園を整備し、これを地域振興につなげます。（詳細は本文P30参照）



## ③美しい近畿づくり

### 地域再生、観光立国推進による地域や経済の活性化

美しい景観や活力ある地域づくりのため、地域固有の自然、歴史、文化、風景などをテーマに美しい道路空間の形成に取り組みます。（詳細は本文P30参照）



## 歴史と文化・世界遺産を活かした街なみ環境整備

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重  
高野山地区、本宮地区

平成16年7月にユネスコの世界遺産登録を受けた「紀伊山地の霊場と参詣道」は、「山岳霊場」と「参詣道」および周辺を取り巻く「文化的景観」が主役であり、今後も引き続き世界に誇りうる財産として継承し、保全・活用していくことが求められている聖地です。

高野山地区（高野町）は、金剛峯寺をはじめとする寺院群と町屋群が交互に建ち並ぶ独特の門前町の景観を残している

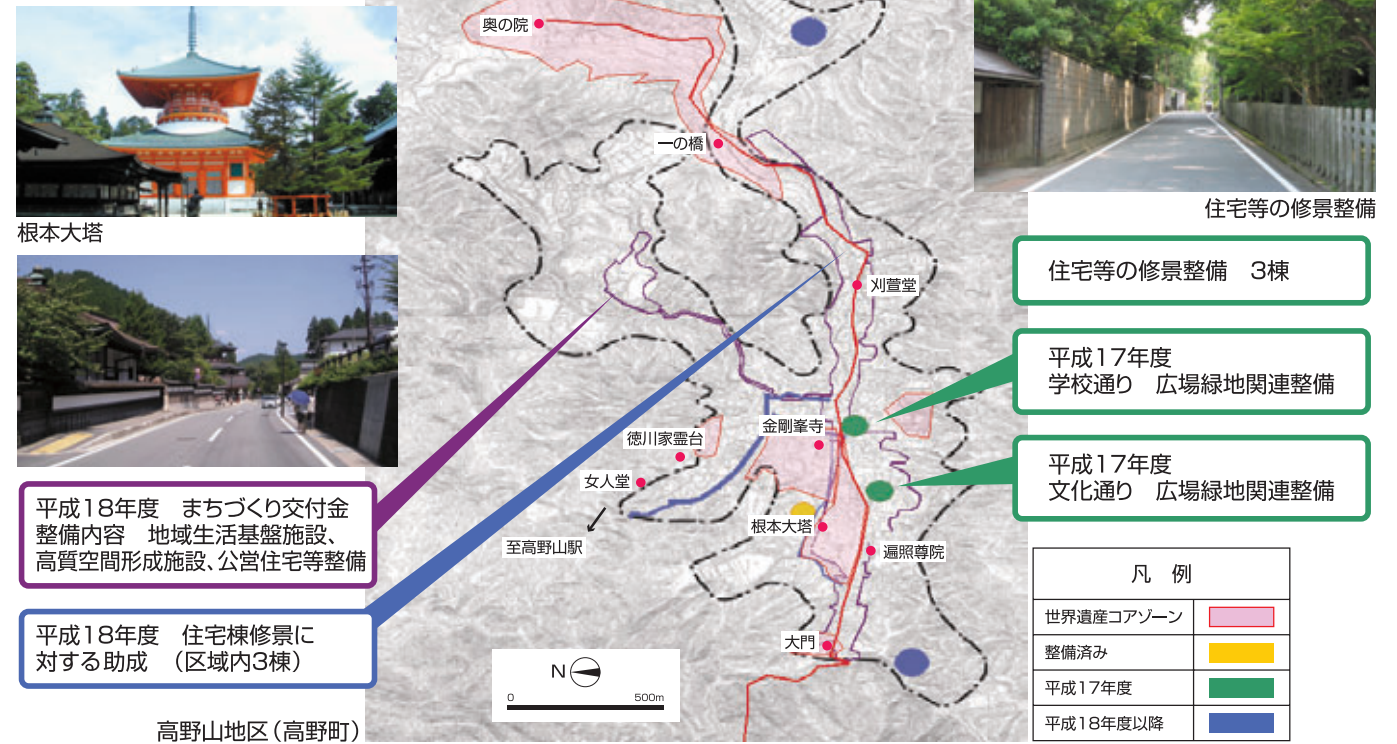
地区であり、本宮地区（田辺市）は、高野山地区より続く参詣道があり、北西部に「熊野本宮大社」（熊野三山）が位置するシンボリックな地区で、これらの地区において、歴史的景観を形成する整備をしています。

高野山地区は従来より観光客は多い方ですが、特定の施設へ集客が目立ち、街全体の活性化までには至っていない状況です。街なかの環境を向上することによ

り、地区内を徒歩で観光し滞在する観光客を増やし、集客による経済の効果を視野に入れています。

平成18年度には、今に息づく精神文化を体現する街並みの保全のために住宅等の修景施設整備を行い、まちの景観向上のために寺跡に人々が和めるような休憩施設の整備、排水路の改善などの事業も進めます。

### 街なみ環境整備促進区域



## 歴史文化を活かした新しい観光文化都市の創造

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重  
舞鶴市

京都府舞鶴市では、まちを代表する赤煉瓦や港などを観光の拠点として、市民との協働を進めながら、個性・魅力あるまちづくりを進めています。

平成18年度には、東舞鶴駅西公園の整備等居住空間の整備を行うと同時に、赤煉瓦倉庫群の景観整備や公共サインの整備を行い、まちの魅力を高める環境整備を行います。また、赤煉瓦を活用したイベントを市民とともに実施したり、市民によるまちの美化活動を支援するなど協働のまちづくりを推進します。



平成18年度 まちづくり交付金整備内容 公園、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、地域創造支援、まちづくり活動推進

